
将来人口推計検討案

平成 21 年 12 月
富 士 見 市

将来人口推計について

1 人口推計の目的

富士見市第5次基本構想を策定するにあたり、本市が今後進めるべき施策の方向性やその規模について検討する前提資料として活用するため、計画期間内の人口を推計するものです。

2 推計方法の概要

(1) 修正コーホート要因法による人口推計

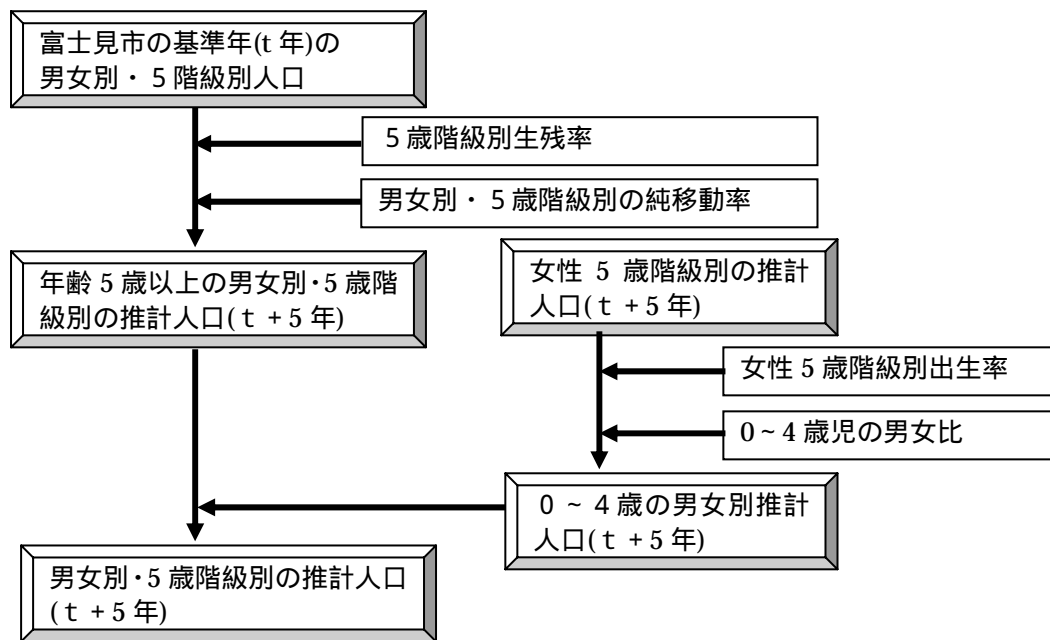
人口推計手法として確立された「コーホート要因法」を基本に、生残率等の算出期間に適合するように、コーホート要因法を修正した方法を用い、計画期間(平成23年度～32年度)内の人口推計を行いました。

- ・コーホートとは
同年又は同期間に出生した集団をさします。
- ・コーホート要因法とは
人口を男女別・年齢別に区分し、別途設定した男女別・年齢別の出生、死亡、移動等の人口動態の要因に基づき、コーホート毎に将来人口を推計する方法です。
- ・修正コーホート要因法とは
推計で用いる人口問題研究所の生残率などが、国勢調査の実施年に合わせた5年間ごとの数値であるため、コーホート要因法を5年間ごとの推計に適合するように修正したものです。
- ・基準年及び推計対象年
推計の基準年は、住民基本台帳の平成21年10月1日現在とし、推計対象年は、「富士見市第5次基本構想」の計画期間を考慮し、平成27年(中間年次)、平成32年(目標年次)の2時点とします。
- ・推計ケースの設定

ケース	内容と特性	備考
封鎖型	・自然動態のみを考慮し、社会動態を見込まないで将来の人口を予測します。	
趨勢型	・自然動態に加え、過去5カ年の期間における社会動態が今後も続くものとして、将来の人口を予測します。	
開発影響型	・趨勢型に加え、標準的な社会動態を上回る大規模な住宅開発などによる増加分(特殊社会増)を含めて将来の人口を予測します。 (水子、諏訪旧暫定逆線引き地区等)	

今回は、あくまで現状を把握するため、趨勢型の推計としています。今後は、この推計に特殊要因などを加え、目標人口を設定していきます。

(2) 推計フロー



(3) 地区別の人口推計(市内を8地区に分割) <参考>

市内各地区の特性を考察するため、地域課題やまちづくりの共通性などに着目し、8地区に分割して推計をしています。

市推計人口

修正コーホート要因法¹による本市の将来人口を見ると、平成 21 年以降、緩やかな減少傾向で推移し、目標年次（平成 32 年）には、基準年次（平成 21 年）に比べて約 1,200 人減少しています。

全市の人口が減少する一方、目標年次の高齢者人口の割合は、基準年次と比べて 7 ポイント増加しています。

表 本市の将来推計人口

区分		平成21年 (基準年次)	平成27年 (中間年次)	平成32年 (目標年次)
総人口(人)		104,932	104,612	103,696
年齢 3 区 分 別	年少人口 (0～14歳)	実数(人)	14,755	11,375
		比率(%)	14.1	11.0
	生産年齢人口 (15～64歳)	実数(人)	69,641	65,085
		比率(%)	66.4	62.8
	高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	20,536	27,236
		比率(%)	19.6	26.3

注) 基準年次の人口は、平成 21 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳を使用した。

表 本市の将来推計人口(75 歳以上)

区分		平成 21 年 (基準年次)	平成 27 年 (中間年次)	平成 32 年 (目標年次)
総人口(人)		104,932	104,612	103,696
後期高齢者人口 (75歳以上)	実数(人)	7,046	10,798	14,498
	比率(%)	6.7	10.3	14.0

表 本市の外国人推計人口

	平成21年 (基準年次)	平成27年 (中間年次)	平成32年 (目標年次)
外国人人口	1,719	2,015	2,319

注) 外国人人口の推計には、回帰分析を用いた。

¹ 「コーホート」とは、同年又は同期間に出生した集団をさします。
「コーホート要因法」とは、人口を男女別・年齢別に区分し、別途設定した男女別・年齢別の生残率によって、翌年の 1 歳年長の人口を求め、同じ操作を繰り返すことにより推計する手法です。推計で用いる国立社会保障・人口問題研究所が発表する生残率等の数値は、国勢調査の実施年に合わせた 5 年間ごとの数値であるため、本推計では、コーホート要因法を 5 年間ごとの推計に適合するように修正した「修正コーホート要因法」を採用しました。

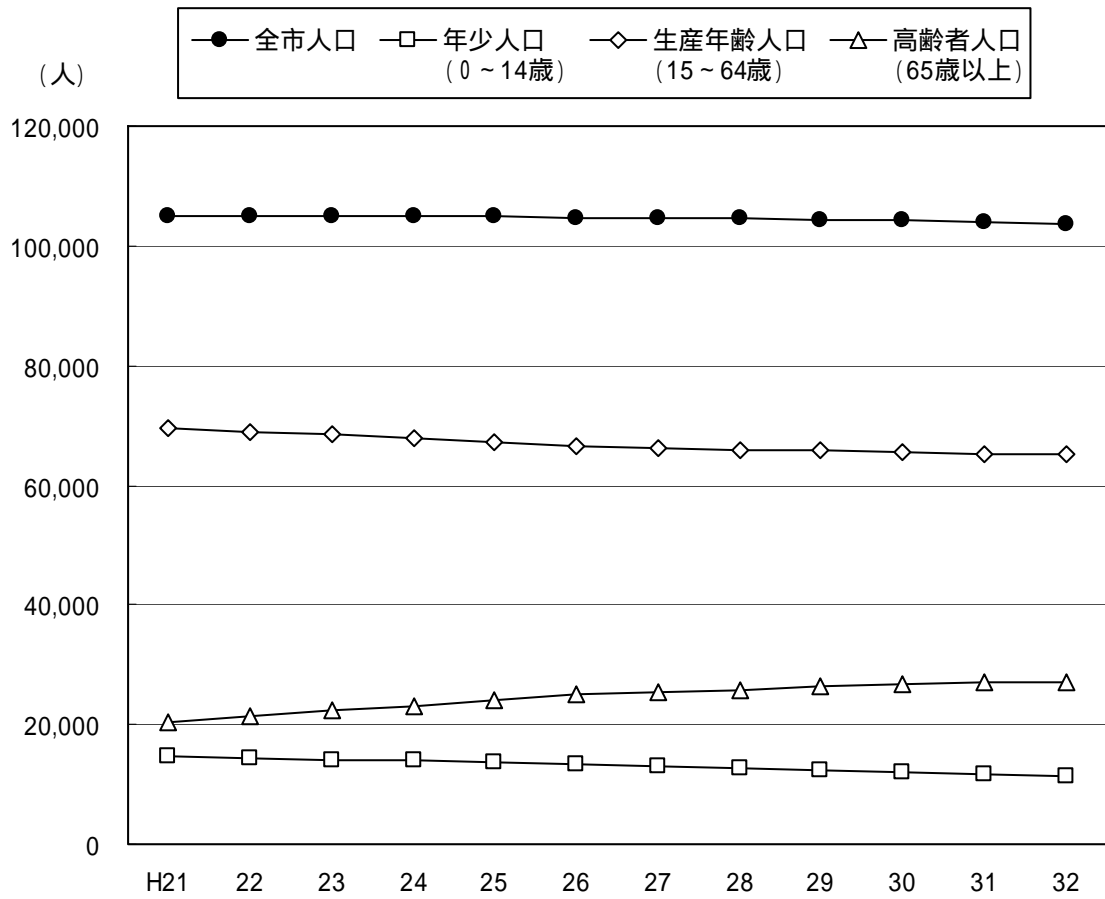
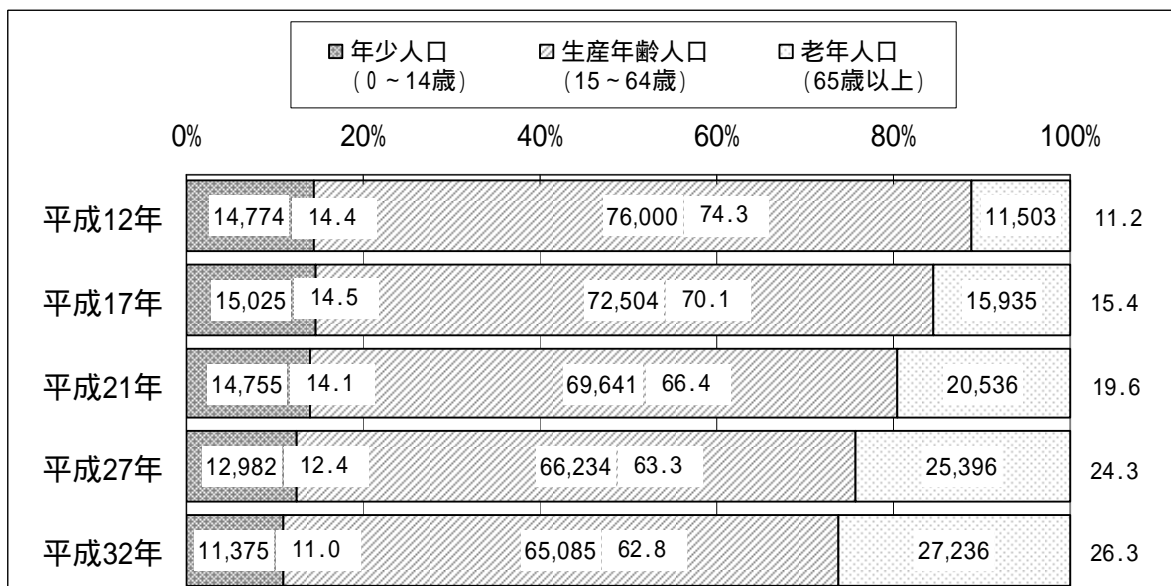
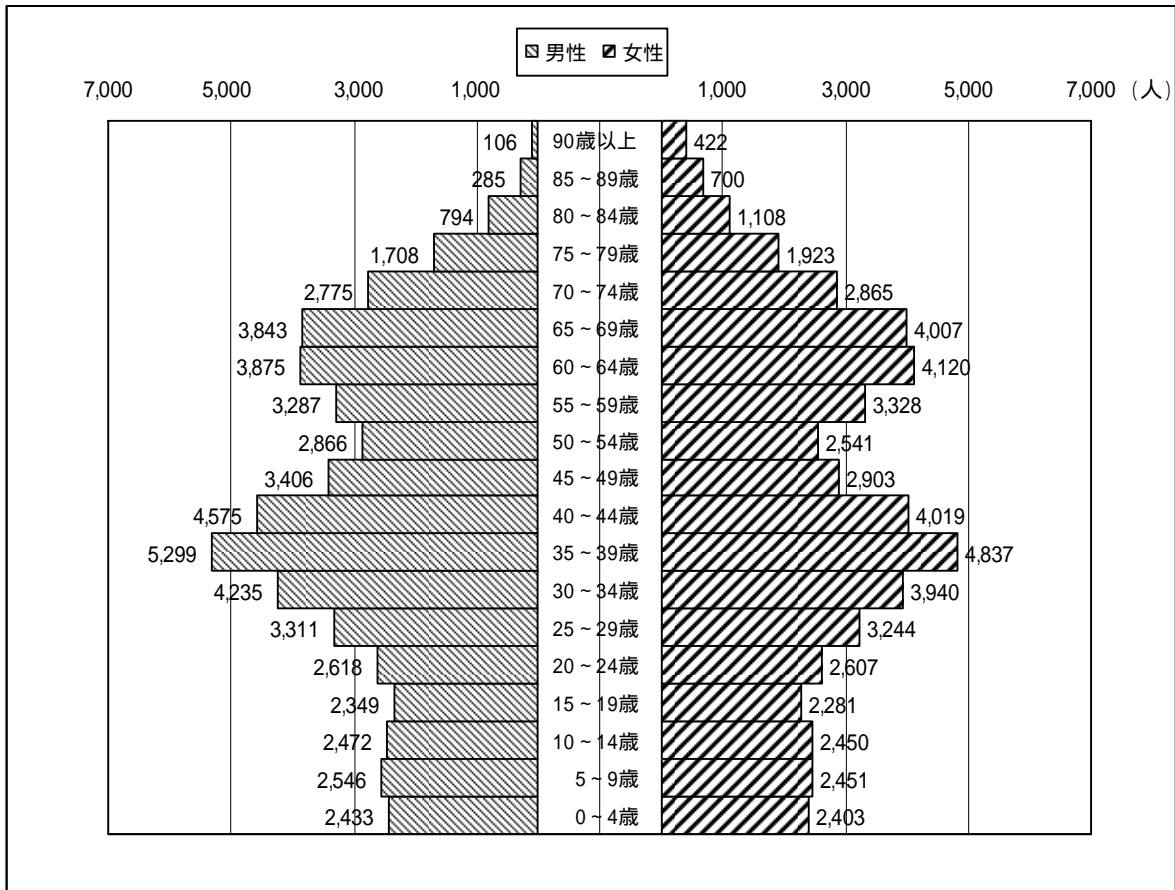


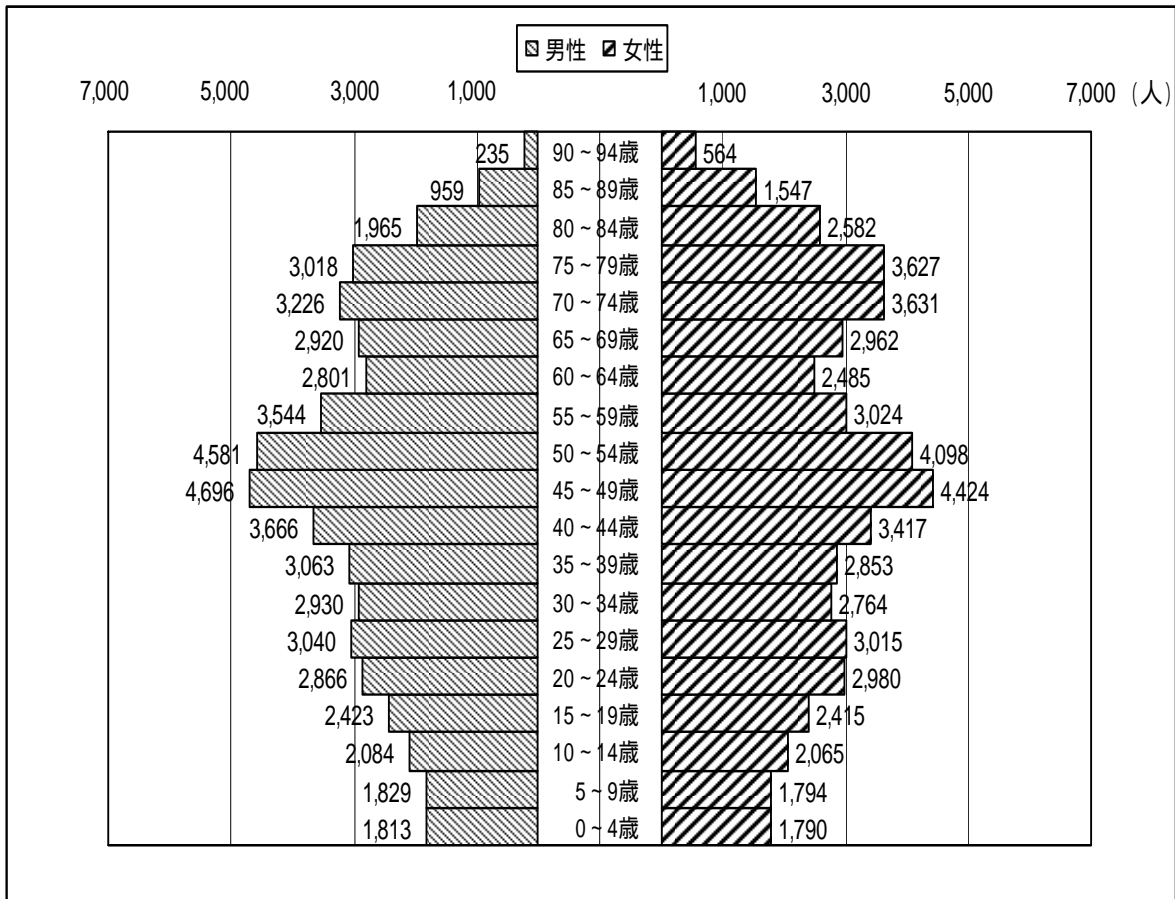
図 本市の将来推計人口の推移



【平成 21 年度】



【平成 32 年度】



地区別推計人口 < 参考 >

1. 地区区分

推計に際しては、次の8地区に区分しました。

勝瀬地区

大字勝瀬

南畑地区

大字東大久保、大字上南畑、大字下南畑、大字南畑新田、みどり野東、みどり野南

渡戸・羽沢・山室・諏訪・上沢地区

渡戸1～3丁目、羽沢1～3丁目、山室1～2丁目、諏訪1～2丁目、上沢1丁目～2丁目

鶴瀬東地区

鶴瀬東1～2丁目、鶴馬1～2丁目、関沢1丁目

鶴瀬西地区

鶴瀬西2～3丁目、上沢3丁目、関沢2～3丁目、大字鶴馬

水谷・東みずほ台地区

水谷1～2丁目、東みずほ台1～4丁目、貝塚1～2丁目、鶴馬3丁目、大字水子

針ヶ谷・西みずほ台地区

針ヶ谷1～2丁目、大字針ヶ谷、西みずほ台1～3丁目

水谷東・榎町地区

水谷東1～3丁目、榎町



図 地区の設定区分

2. 推計結果 < 参考 >

地区別将来人口²を見ると、勝瀬地区、鶴瀬東地区、水谷東・榎町地区は増加傾向、その他の5地区は減少傾向となっています。

基準年次に対する目標年次の増減率を見ると、増加率は勝瀬地区の41.5%が最も高く、減少率は鶴瀬西地区の8.3%が最も高くなっています。

全地区において、生産年齢人口の割合は減少傾向、高齢者人口の割合は増加傾向で推移しています。

年少人口の割合は概ね減少傾向となっていますが、水谷東・榎町地区のみ増加傾向(3ポイント増)で推移しています。

表 地区別の将来推計人口 < 参考 >

地区		平成21年 (基準年次)	平成27年 (中間年次)	平成32年 (目標年次)
勝瀬地区	実数(人)	13,445	16,197	19,030
	対基準年次増減率(%)	-	20.5	41.5
	全市に占める割合(%)	12.8	15.4	18.0
南畑地区	実数(人)	4,488	4,455	4,393
	対基準年次増減率(%)	-	0.7	2.1
	全市に占める割合(%)	4.3	4.2	4.2
渡戸・羽沢・山室・諏訪・上沢地区	実数(人)	21,493	20,737	19,884
	対基準年次増減率(%)	-	3.5	7.5
	全市に占める割合(%)	20.5	19.7	18.8
鶴瀬東地区	実数(人)	10,190	10,288	10,359
	対基準年次増減率(%)	-	1.0	1.7
	全市に占める割合(%)	9.7	9.8	9.8
鶴瀬西地区	実数(人)	20,917	20,039	19,184
	対基準年次増減率(%)	-	4.2	8.3
	全市に占める割合(%)	19.9	19.0	18.1
水谷・東みずほ台地区	実数(人)	18,247	17,551	16,890
	対基準年次増減率(%)	-	3.8	7.4
	全市に占める割合(%)	17.4	16.6	16.0
針ヶ谷・西みずほ台地区	実数(人)	9,716	9,403	9,099
	対基準年次増減率(%)	-	3.2	6.4
	全市に占める割合(%)	9.3	8.9	8.6
水谷東・榎町地区	実数(人)	6,436	6,773	6,949
	対基準年次増減率(%)	-	5.2	8.0
	全市に占める割合(%)	6.1	6.4	6.6
全市	実数(人)	104,932	105,443	105,788
	対基準年次増減率(%)	-	0.5	0.8
	全市に占める割合(%)	100.0	100.0	100.0

注) 全市の推計値は、各地区の推計値を積み上げた値。

² 町別推計には、市推計と同様の「修正コーホート要因法」を使用しました。

表 地区別の年齢3区分別将来推計人口 < 参考 >

地区	区分			平成21年 (基準年次)	平成27年 (中間年次)	平成32年 (目標年次)
勝瀬地区	地区計(人)			13,445	16,197	19,030
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	2,563	2,671	2,705
			比率(%)	19.1	16.5	14.2
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	9,551	11,321	13,336	
		比率(%)	71.0	69.9	70.1	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	1,331	2,205	2,989		
	比率(%)	9.9	13.6	15.7		
南畑地区	地区計(人)			4,488	4,455	4,393
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	586	545	509
			比率(%)	13.1	12.2	11.6
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	2,841	2,656	2,494	
		比率(%)	63.3	59.6	56.8	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	1,061	1,254	1,390		
	比率(%)	23.6	28.1	31.6		
渡戸・羽上沢・山室・	地区計(人)			21,493	20,737	19,884
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	3,041	2,521	2,111
			比率(%)	14.1	12.2	10.6
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	13,688	12,446	11,781	
		比率(%)	63.7	60.0	59.2	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	4,764	5,770	5,992		
	比率(%)	22.2	27.8	30.1		
鶴瀬東地区	地区計(人)			10,190	10,288	10,359
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	1,399	1,165	1,043
			比率(%)	13.7	11.3	10.1
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	6,929	6,822	6,802	
		比率(%)	68.0	66.3	65.7	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	1,862	2,301	2,514		
	比率(%)	18.3	22.4	24.3		
鶴瀬西地区	地区計(人)			20,917	20,039	19,184
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	2,600	2,133	1,751
			比率(%)	12.4	10.6	9.1
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	13,290	12,122	11,622	
		比率(%)	63.5	60.5	60.6	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	5,027	5,784	5,811		
	比率(%)	24.0	28.9	30.3		
東みずほ谷・	地区計(人)			18,247	17,551	16,890
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	2,394	2,020	1,687
			比率(%)	13.1	11.5	10.0
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	12,516	11,265	10,532	
		比率(%)	68.6	64.2	62.4	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	3,337	4,266	4,671		
	比率(%)	18.3	24.3	27.7		
西みずほ谷・	地区計(人)			9,716	9,403	9,099
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	1,325	1,084	921
			比率(%)	13.6	11.5	10.1
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	6,904	6,318	5,929	
		比率(%)	71.1	67.2	65.2	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	1,487	2,001	2,249		
	比率(%)	15.3	21.3	24.7		
水谷東・榎町地区	地区計(人)			6,436	6,773	6,949
	年齢3区分別	年少人口 (0~14歳)	実数(人)	847	1,073	1,129
			比率(%)	13.2	15.8	16.2
	生産年齢人口 (15~64歳)	実数(人)	3,922	3,789	3,927	
		比率(%)	60.9	55.9	56.5	
高齢者人口 (65歳以上)	実数(人)	1,667	1,911	1,893		
	比率(%)	25.9	28.2	27.2		